

2024年7月22日

新規疼痛治療薬候補化合物に関するライセンス契約締結のお知らせ

日産化学株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：八木 晋介、以下「日産化学」）は、同社が創製した新規疼痛治療薬候補化合物 NIP-322（開発コード）について、マルホ株式会社（本社：大阪府大阪市北区、代表取締役社長：杉田 淳、以下「マルホ」）との間で、独占的ライセンス契約（以下「本契約」）を締結したことをお知らせいたします。

本契約の締結により、日産化学はマルホに対し、NIP-322 の日本、米国、欧州、台湾における研究・開発・販売を行うための独占的通常実施権を許諾、その他の国と地域における優先交渉権を付与するとともに、原薬を製造し供給します。本契約に基づき日産化学は、マルホより契約一時金、今後の開発・販売の進捗に応じたマイルストーンおよび売上高に応じたロイヤルティを受領します。

NIP-322 は、痛みの発症に関与するテトラヒドロピオプテリン(BH4)の生成酵素であるセピアプテリン還元酵素(SPR)の選択的阻害薬であり、現在臨床で使用されている医薬品とは異なる新規作用機序により疼痛を抑制することが期待されます。

日産化学は、本契約のもとでマルホと共同で安全かつ高い治療効果を有する新規疼痛治療薬の開発に取り組んでまいります。

マルホ株式会社について

大阪市北区に本社を置く、医療用医薬品等の研究・開発・製造・販売を行う製薬企業です。創業は1915年、従業員数は1,566人（2023年9月末）です。2023年9月期の売上高は857億19百万円でした。「あなたといういのちに、もっと笑顔を。」をミッションに掲げ、誰もが笑顔で暮らすことのできる社会の実現を目指しています。

マルホ株式会社についての詳細は www.maruho.co.jp をご覧ください。

日産化学株式会社について

日産化学は、コア技術の鍛錬と育成により、「機能性材料事業」「農業化学品事業」「化学品事業」「ヘルスケア事業」の4事業を通じて、社会課題解決に貢献する製品・サービスを提供します。新技術を獲得し、コア技術の深化と融合により各事業領域の成長を加速させ、社会課題を解決します。

日産化学株式会社についての詳細は <http://www.nissanchem.co.jp> をご覧ください。

本件に関する問い合わせ先

日産化学株式会社 経営企画部 企画室 広報グループ
(東京都中央区日本橋 2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング)

TEL : 03-4463-8123

E-mail : pr_cpd@nissanchem.co.jp